

幼児の身の回りには危険がいっぱい!

テーブルにのぼってハサミを取る!



紙しか切れない子供用のプラスチックのハサミを渡していたが、大人用のハサミを触ってみたかったらしく、テーブルにのぼり、上においてあったハサミを自力で取っていた。(1歳男子)

ベビーベッドの柵を乗り越える!



当時1歳の長女がベビーベッドから身を乗り出していました。手すりがついていましたが、身長は手すりを越えるくらい大きくなっていました。その手すりを越えて頭部から落下。(1歳女子)

ライターで火遊び!



様々な形状をしたライター

ライターをテーブルの上に置きっぱなしだったため、子供がいたずらをしてカレンダーを燃やしそうになった。(4歳男子)

「まだ大丈夫」と思っている、子供は成長するにつれて今までできなかったこともできるようになります。好奇心が強いのでいろいろなものに手を伸ばしたり、柵を乗り越えたりします。十分注意が必要です。ハサミなどの刃物やライターは使用したらすぐ片付けましょう。

★おもちゃを鼻や目に入れてしまうことも…

ビーズのおもちゃを鼻に入れる



2歳の時に娘がビーズ遊びをしていた。しばらくしてから子供が「鼻に入れちゃった」と見せに来た。コーン粒くらいの大きさのものをに入れていて、取れなかったのですぐに耳鼻科を受診し取ってもらった。(2歳女子)

おもちゃの弾丸を耳に入れる



公園でビービー弾を拾ってきたらしい3歳の息子が、耳に入れました。誰も持って帰ったのを知らなかったため、耳に何か詰めているのも知らなかった。見ると奥に入っているのを受診した。(3歳男子)

ビーズなど小型のおもちゃを鼻・耳・口に入れる事例は、1～3歳の子供に集中しています。こうしたおもちゃでは、対象年齢より下の年齢で事故にあっている事例が多くあります。対象年齢をよく確認しましょう。公園に落ちているものを拾ったり、年上の兄弟が遊んでいるものを取ったりして事故にあっている事例もあります。

★近年普及してきた製品による事故もあります

チャイルドシートの金具でやけど



3年前、炎天下に駐車していた自家用車に乗り、チャイルドシートを装着する際、金具が子供の腕にあたり、左腕をやけど、今もあとが残っている。(3歳男子)

夏は、ほんのちょっとした時間でも車の中が暑くなります。子供をチャイルドシートに乗せる時は、金具やバックルが熱くなっていないか確認し、熱くなっている場合は十分冷やしてから乗せましょう。

ドアのすき間に足を挟まれる



24時間換気のために、各居室のドアの下が数センチ開いているが、部屋を移動する際、大人だったら入らないドアの下のすき間に足の指を挟み、足の皮がめくれる怪我をした。(4歳男子)

建築基準法改正により、シックハウス対策として機械換気設備の設置が義務付けられました。そのため、部屋の内外でスムーズに空気が流れるよう、下部にすき間を設けたドアを使用している家が増えています。幼児は大人よりも足のサイズが小さく、ほんの少しのすき間でも足を挟まれてしまいます。十分注意しましょう。

事故にあわれた時、商品やサービスに原因があると思われる場合には、消費生活センターなどの相談機関に申し出ましょう。

東京都消費生活総合センター **03-3235-1155**

受付時間 月～土 9:00～16:00 またはお近くの区市町村の相談窓口

「くらしの安全情報サイト」をぜひ、ご活用ください!

商品・サービスを中心とした危害・危険・安全性に関する情報を提供しています。

●「くらしの安全情報サイト」 <http://www.anzen.metro.tokyo.jp/>

掲載内容についての お問い合わせ先 東京都生活文化スポーツ局 消費生活部生活安全課 03-5388-3082



★幼児の身の回りの事故防止のポイントをまとめた「幼児の身の回りの事故防止ガイド」は、くらしの安全情報サイトからダウンロードできます。